

1. 評価報告概要表

作成日 平成19年9月26日

【評価実施概要】

事業所番号	4072300397		
法人名	医療法人 正慈会		
事業所名	グループホーム ゆらり館		
所在地 (電話番号)	福岡県八女市大字納楚446の1 (電話) 0943-23-5173		
評価機関名	株式会社 アトル ソリューション部		
所在地	福岡市博多区半道橋2丁目2番51号		
訪問調査日	平成19年9月11日	評価確定日	平成19年10月12日

【情報提供票より】(19年 7月 24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 3月 4日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 9人, 非常勤 7人, 常勤換算 11.8人

(2) 建物概要

建物形態	併設 / (単独)	(新築) / 改築
建物構造	木造平家 造り	
	1 階建ての 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	〇無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(100,000円)	有りの場合 償却の有無	(有) / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (7月 24日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護 1	6 名	要介護 2	5 名
要介護 3	4 名	要介護 4	2 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 87.7 歳	最低 76 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	草場内科循環器科医院
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは木造で建てられ天井は高く、共有スペースも広く、ゆったりと安らぎのある生活が演出されている。また、同法人の医療機関が隣接しており、24時間受診が可能となっており、安心して生活ができる体制が整っている。開設して4年となり益々地域との交流も深まっており、地域の老人介護の拠点として期待されている。職員も離職が少なく利用者と馴染みの関係ができ、明るく家庭的な雰囲気が感じられる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	運営理念は地域密着の特性を改めて掲げて再度施設内、地域に向けて発信する必要がある。また、掲示物(カレンダー)は文字を大きく書き分けやすく手作りされていた。時計の位置がまだ高く見づらかった。排泄チェック表も作成され有効に活用されている。成年後見人制度の勉強会も開かれパンフレット等の準備もあった。洗剤等は使用後は安全に収納されている。地域との交流も広がりがみられた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価については管理者やケアマネジャーを中心に職員と確認しながら実施されていた。また、外部評価だけでなく、他関係者の来苑時もありかまのまの状態を見てもらい意見を頂き、必要な改善点があれば前向きに取組む姿勢を感じた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	会議には市の担当者、地域の民生員、老人会長、町内会長、利用者・家族が参加している。利用者および家族には固定せず呼びかけを行い参加をしてもらっている。定期的開催されており、内容もホームのごとだけに留まらず地域の情報交換の場にもなっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法 運営への反映 (関連項目: 外部8, 9)
	日常から速やかな対応ができる様に心掛けており、ホーム内のミーティングや運営推進会議で課題にあげて対策の検討をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地域との交流や連携も広がりが見られる。特に秋祭りはホーム外の人々の参加も考慮して開催しており、多数の参加があつている。利用者も数ヶ月前から楽しみにされている。また、幼稚園や中学生との交流も行われている。地域へ出かけての交流も今後積極的に検討実施が予定されている。

2. 評価報告書

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設来、1.自分らしい生活の支援、2.尊厳を保った支援、3.家庭的な雰囲気での生活支援を理念を掲げている。		地域密着型サービスの役割を理解し、地域のなかで暮らすこと意識した具体的な理念を加えることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時から理念の理解に向けた説明、教育を行っている。また、常に理念を視野に入れて業務を行える様に廊下や事務所に掲げている。		
2.地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	幼稚園のお遊戯会、中学生の慰問を始め、ホームの催事や行事にも住民へのお誘いが行なわれている。特に秋祭りを一大イベントとして開催され、多くの参加があり、入所者の方々楽しみにされている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全員で確認しながら行い、その後評価をもとに話し合いを行い、改善に向けて生かされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催されている。市役所、町内会長、民生員、老人クラブ、家族等の参加があっている。ホームの運営に止まらずに地域の情報交換の場にもなっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月に2度、市の担当職員の来苑があり、状況確認や見学した意見交換を行ったりとサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員全員が十分な説明が出来るようにパンフレット等を準備されている。説明の依頼があれば関係窓口への紹介ができる体制を整えられている。		
4.理念を实践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らし方や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月間の行事予定表の送付を行っている。金銭管理が本人で困難な場合は出納帳を作成して管理支援している。生活状況は写真等を用いて適宜家族へお伝えされている。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議等の場を利用している。参加家族は固定していない。また、随時に意見・不満・苦情が申し出やすい雰囲気作りに配慮し、申し出があれば速やかに対応する様にしている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職は少なく、職員の移動もない。利用者や御家族とも馴染みの関係が良好に維持できている。		新しい職員の採用を行ったら、随時に紹介するだけでなく、行事予定表の送付時等に添付して全家族へご紹介されることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
11	19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	性別や年齢を対象から排除することなく、現在勤務している職員も各年代の方がおられる。		
12	20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	内部にとどまらず外部の研修にも参加している。また、管理者が外部研修等で聞いてきたことを職員に話す等しながら、啓発活動に積極的に取り組んでいる。		
13	21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	ミーティング時に勉強会も取り入れている。外部の研修にも積極的に参加できるように努めている。		必要と思われる勉強会は計画をたてて実施して頂きたい。また、新人の教育等や業務改善に活用できる様にして頂きたい。
14	22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	八女市のグループホーム部会に参加している。事例発表を行い意見交換するなど行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	家族と一緒にホームに来てもらったり、必要に応じて体験宿泊しながら馴染めるよう工夫を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている	利用者より職員も学び教えて頂くこともあり、そのような時間が共に過せる様な話しかけを心掛けている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望や意向がアセスメントできる様に話しかけに心がけている。必要に応じてケアプランで対応する様にしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や各専門職との情報交換に心がけて作成している。		介護計画に至った過程であるアセスメントや課題分析の記載も適宜に行って頂きたい。また、担当者会議に家族や本人の参加をお誘いして意向や希望の確認を改めて行い、それを担当者と一緒に話し合っ頂きたい。
19	39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的なモニタリングの実施もされている。家族の意向も随時把握に努め必要に応じてケアプランで対応する様にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特に医療的な連携は緊密に可能な環境にあり 健康管理には万全な対応が行われて、本人や家族の信頼も大きい。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同法人の医療機関が隣接しており医師による健康管理が日頃よりなされている。また、希望により他の医療機関への受診も支援されている。		
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	隣接の医療機関との連携にて終末期の支援ができる恵まれた環境である。申し出があれば受け入れて家族と十分に相談しながら支援している。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の立場に立ち気持ちを尊重しながら言葉かけに心掛けて対応されている。カルテ等の記録は職員スペースで管理され個人情報の保護に努められている。		
24	54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、レクリエーション等を行ったり 自由参加で強要はしてられず、自分の時間として趣味をしたりくつろいだりと希望にそって支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは利用者の希望が取り入れられている。また、食事作りや配膳まで利用者が手伝われており、楽しんでられる様子が伺われ、職員も一緒に楽しい雰囲気の中で食事をしている。		
26	59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者への平等な配慮や業務の流れにて曜日と順番をきめているが、可能な限り希望に添えるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自発的に楽しみながら掃除・食事作り・洗濯当の手伝いをしておられる様子が伺われる。また、俳句等の趣味への支援やベランダや中庭で寛げる環境作りも行なわれている。		
28	63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者からの買物等の申し出があれば随時支援している。近頃は特に百元ショップへの買い物の希望が多く、楽しまれている。		
(4)安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は施錠をしておらず、自由な暮らしを支援している。		
30	73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼間の避難訓練は年に2度実施されている。マニュアル作成もされている。		夜間における避難誘導等の手順を消防署等の関係機関や地元の関係者と相談して作成して頂き、職員全員に周知徹底を図る為に夜間想定訓練を行って頂きたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューは職員が交代で行っているが管理栄養士の指導も得ている。また、食事摂取量の確認と記録を行い、必要に応じて水分摂取量も確認している。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム自体が木造平屋建てで天井も高く、大きな梁や柱造りで木のぬくもりを感じられ、利用者には住みやすい環境である。共有スペースもゆとりある広さとベランダや中庭でも過ごせるような空間も施されている。		
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時から家族と相談しながら可能な限り家庭生活の延長として心地よく生活ができる様に使い慣れた家具や装飾品を持ち込んで頂いたりして配慮している。		